


生活協同組合コープみえ福祉活動寄付金事業

活動報告

地域勉強会『みんなで生き生きと
地域で暮らせる共生社会をめざして』



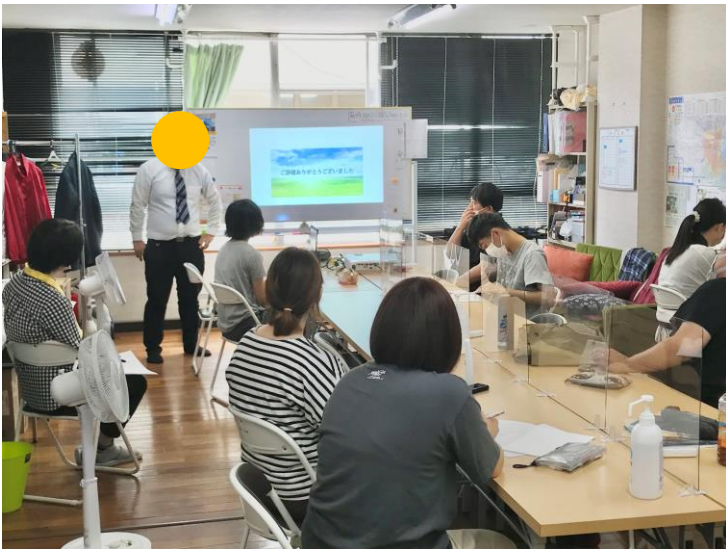
2022年2月26日（日）

特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター

ユニバーサル就労センターとは

▶誰もが生きがいを持って社会参加できる地域社会づくり

2015年～ 四日市市 諏訪商店街内で活動
「働きたい」と思っている障がいがある方への**就労支援**を行う



勉強会のはじまり

- ・活動開始から約6年

地域の当事者、そのご家族、支援者、企業、興味・関心を持っている人達と繋がる機会を



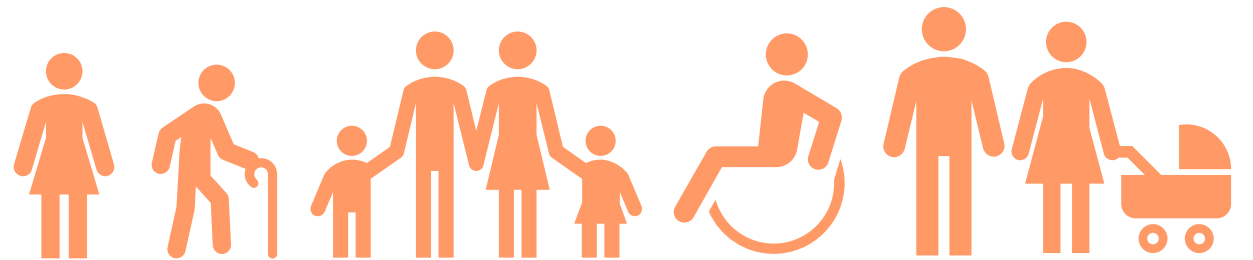
- ▶ **生活協同組合コープみえ福祉活動寄付金事業**にエントリー

『**地域勉強会～みんなで生き生きと地域で暮らせる共生社会をめざして～**』

- ・令和4年5月からスタート

勉強会の目的

- ・ 誰もが笑顔で未来に向かえる地域社会を作りたい
- ・ さまざまなテーマで「障がい」について一緒に考えたい
- ・ 繋がりを作りたい



広報活動①

・勉強会のチラシを配布・設置

▶コープみえ 四日市センター様のご協力を得て1万9000部配布

▶四日市市社会福祉協議会、
北勢若者サポートステーション、
四日市市なやプラザなど

10か所の施設・機関でチラシの設置・配布

コープみえ福祉活動寄付金活用事業

みんなで生き生きと地域で暮らせる
共生社会をめざして

マスク着用
ご協力をお願いします。

障がいがある人もない人も みんなが幸せになるために。ともに学び、分かち合う。
この勉強会では、全4回にわたってそれぞれのテーマについてご経験者の方々からお話をうかがい、
障がいがある人もない人も、ともにみんなが幸せに生きるためのヒントを考えていきたいと思っています。

この活動は「生活協同組合コープみえ 福祉活動寄付金」を活用させていただき実施しております。

目 程 全4回シリーズ（会場では検温・換気のほか、感染症拡大防止対策を実施いたします）

第1回 5月28日（土）13:30～15:00 第2回 7月23日（土）13:30～15:00

『障がいを持った家族との接し方』
ご家族の方から、障がいをもつ子との関わり方や
子育ての経験談、家族会についてお話をうかがいます。

『障がいがある人の就労について』
企業担当者の方など、障がい者就労の現場に携わる方々
をお招きし、一緒に障がい者就労について考えていきます。

第3回 10月22日（土）13:30～15:00 第4回 来年1月21日（土）13:30～15:00

『障がい受容について』
障がいを持ちながら就職を目指している当事者の
みなさんから、それぞれの体験についてお話をうかがいます。

『親なき後について考える』
障がいがある方の多くは家族と同居されています。親なき
後も安心して暮らしていくために何が必要かを考えていきます。

会 場 トレーニングカフェ スブラウト
四日市市陣訪栄町2-9 三重興農社ビル1階
（近鉄四日市駅から徒歩4分、地図は裏面へ）

定 員 各回先着 20名
参加費 無料

主 催 NPO法人ユニバーサル就労センター
お問い合わせ 四日市市陣訪栄町3番4号 星座ビル3階 TEL 059-355-2205

※感染症拡大防止対策のため定員数を変更させて頂く場合があります。

参加申込書 下記事項をご記入のうえ、FAXにてご送付いただくか、上記のQRコードにアクセスして
いただき、お申し込みください。

お名前		勉強会日程（参加ご希望の日程にマル○を記入して下さい）↓
ご住所		第1回 5月28日（土）13:30～15:00
連絡先		第2回 7月23日（土）13:30～15:00
		第3回 10月22日（土）13:30～15:00
		第4回 来年1月21日（土）13:30～15:00

※ご記入いただいた個人情報については、勉強会参加申し込みのみ使用させていただきます。その後破棄させていただきます。

広報活動②

・中日新聞に掲載

中日新聞四日市支局のご協力により
2022年5月26日 朝刊 北勢版に
掲載して頂いた。

* 反響があり、四日市市以外の市町から
参加申込みがあった。

心の病や障害 理解へ勉強会

心の病や障害への理解を深めてもらおうと、当事者やその家族らを対象にした勉強会が二十八日から、四日市市諏訪栄町のカフェ「スプラウト」で始まる。来年一月まで計四回の開催で、初回は障害がある家族との接し方をテーマに体験談などを聴ける。午後一時半～三時。

病気や障害がある人の就労支援を手掛ける同市のNPO法人「ユニバーサル就労センター」が主催する。当日は、過去に同法人で就労支援を受け、就職を果たした当事者の親が二組登場。進路を決めるときなどの親子間の衝突など、子育て中の体験や悩み、それら乗り越え働けるようになるまでの経緯や心境を話す。家族同士で子育ての悩みを共有する大切さも説く。

七月以降も、障害者の就労や、親が亡くなった後の当事者の生き方などのテーマで会を開催。各回先着二十人で、電話やファクス、ホームページ、もしくはQRコードから参加希望の回を申し込める。家族や当事者だけでなく、知り合いなどの参加も歓迎している。

担当者は「当事者や家族らみんなが、前向きに生きるためのヒントを見つけてほしい。同じ悩みを抱える人同士の仲間づくりの場にもなれば」と話す。問い合わせ先は同法人059(3555)2205

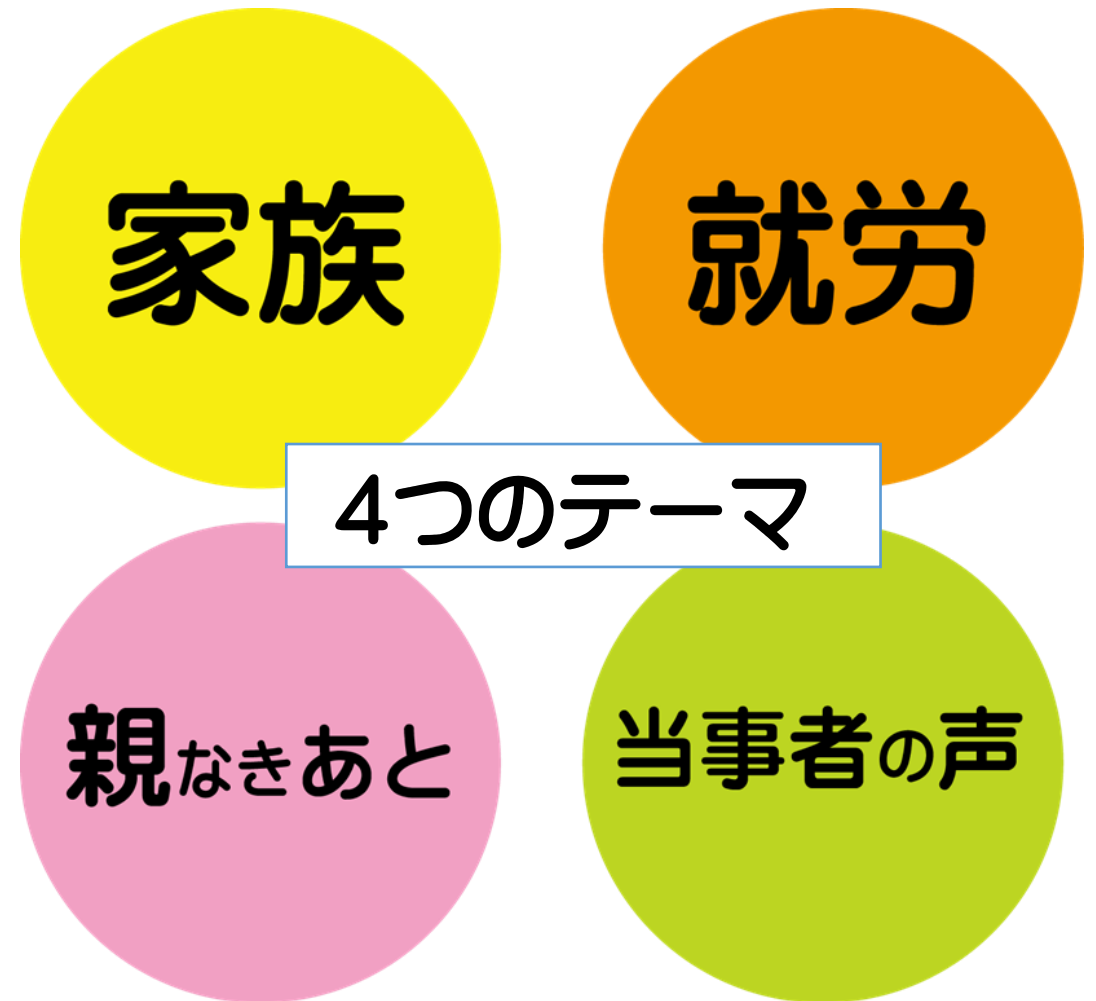
(尾林太郎)

全4回の勉強会を行いました

- ・各テーマの当事者・経験者をゲストにお迎えし、ゲストの体験談やテーマに関する様々なお話をうかがいました。

💡 多彩なゲストの方々

- ・ 障がいを持つ**当事者**の方々
- ・ **家族会**や**NPO法人**で活動
- ・ **企業**の障がい者**雇用担当者**
- ・ **地域**で障がい者**支援**を担当



勉強会の様子①

- さまざまな年代・さまざまな地域の方々がご来場。
当事者の方やそのご家族の方も多い。
- ゲストの体験談に共感され、
参加者の方がご自身の体験・想いをお話しして下さる場面もあった。
- 休憩中や終了後にゲストやスタッフに
質問や相談に来られる参加者の方も。



勉強会の様子（当事者発表）②

自分の障がいや特性・自分の過去・これからの目標について発表しました。



「当事者の思いを目の前で聴けて、とても感動した」
「しっかり自分を見つめて、目標を持って生きていて素敵だと思った」

頂いたご感想（一部）



- (第1回)四日市市の家族会を知ることができてよかった。
- ひきこもりの子がおり、関わり方を知れて前向きになれた。
- (第2回)支援者や企業側の話は参考になった。
- 受け入れる事業者側としてたくさんのヒントが得られた。
- (第3回)当事者の声を目の前で聴けてとても感動した。
- (第4回)何回か参加し、とても参考になる話が聴けた。
- 個人では得られない情報が聞けてとても勉強になった。
- 勉強になり、今後考えるスタートになりました。

成果

- 新聞に掲載され、桑名・津など市外から幅広い年齢層（20代～70代）の方々が参加。
- 来場者数： 合計 87 名
- 勉強会をきっかけに新たな繋がりができた。
（参加をきっかけに家族会に繋がった方も）



今後の活動

- ・アンケートでも「勉強会を通して学びがあった」などのご意見や今回の4テーマ以外のテーマで話をきいてみたいとの声も多く頂いた。今後も継続してこの活動を続けていきたい。
- ・築けた繋がり・ご意見を活かし、障がいの有無に関わらず誰もがいきいきと暮らせる地域づくりに向けて今後もさまざまな活動に取り組んでいきたい。



会計報告

1. 収入の部	金額（円）	計（円）
（１）コープみえ	98,800	98,800
2. 支出の部		
（１）講師謝金	45,000	
（２）チラシ印刷代	30,320	
（３）会場費	16,000	
（４）資料作成費	7,480	
		98,800
3. 収支差額		0

以上のとおり報告いたします。

令和5年1月31日

特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター
事業担当者